

風水害から命を守る

近年、日本各地で台風や集中豪雨による被害が多く発生しています。
いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃からさまざまな情報を収集し
どのような行動を取るべきか考えておきましょう。

☎ 危機管理課（防災センター 2 階） ☎ 0538-37-2114 FAX 0538-32-0177
地域づくり応援課（本庁舎 2 階） ☎ 0538-37-4751 FAX 0538-32-2353

「洪水ハザードマップ」を用いて 自分が住む地域の危険箇所をチェック！

「洪水ハザードマップ」を全戸配布しました

ページ番号 1008397

令和 4 年 4 月に「洪水ハザードマップ」を全戸配布しました。このハザードマップには、
想定される最大規模の降雨で河川（天竜川・太田川水系）が氾濫した場合の、浸水などの
想定範囲と水深、避難場所などが示されています。

自分が住んでいる地域の災害リスクを知り、いざという時に備え、家族や近所の方と避
難先や避難の方法を話し合ひましょう。



◀ 自宅の位置と危険な箇
所をチェックし、避難
場所までの避難経路を
考えてみましょう

洪水ハザードマップ
(想定最大規模降雨)

このハザードマップは想定最大規模の降雨による浸水想定と、避難場所などの情報を示したもので、避難ハザードマップとして活用できます。いざという時に備えて、家族や近所の方と避難場所や避難の方法を話し合ひましょう。

我が家の防災情報

家族の避難場所

① _____
② _____

我が家の状況

我が家の浸水深は？ _____ ｍ
我が家の浸水継続時間は？ _____ 時間
我が家は家屋倒壊等危険想定区域か？ はい いいえ

自宅から避難場所までの経路を確認しましょう

目的に応じて、自宅から、避難所の避難場所までの避難経路、移動にかかる時間、道路の浸水が想定される場合の迂回経路等を確認し、安全・迅速に避難できるように、地図上の経路を確認しましょう。

作業の手順

手順 1 地図上の、自宅から避難場所までの経路を確認し、移動にかかる時間、道路の浸水が想定される場合の迂回経路等を確認し、安全・迅速に避難できるように、地図上の経路を確認しましょう。
手順 2 「5」から「7」までの手順を確認し、避難場所を確認し、移動にかかる時間、道路の浸水が想定される場合の迂回経路等を確認し、安全・迅速に避難できるように、地図上の経路を確認しましょう。
手順 3 避難場所を確認し、移動にかかる時間、道路の浸水が想定される場合の迂回経路等を確認し、安全・迅速に避難できるように、地図上の経路を確認しましょう。

※ 自宅以外の場所でも、①～③の手順を確認し、避難場所を確認し、移動にかかる時間、道路の浸水が想定される場合の迂回経路等を確認し、安全・迅速に避難できるように、地図上の経路を確認しましょう。

発行：令和 4 年 3 月 問い合わせ先：側田市危機管理課 0538-37-2114



◀◀洪水ハザードマップ



洪水ハザードマップは市ホームページでもご確認いただけます

悪天候や台風接近時の情報収集方法をチェック！

静岡県防災情報サイト「サイポスレーダー」

ページ番号 1001210

県内の防災情報は、防災情報発信サイト『SIPOS-RADAR（サイポスレーダー）』で知ることができます。

サイポスレーダーは、パソコンやスマートフォンで誰でも閲覧できます。天気予報、雨量・水位情報、台風情報のほか、国や県が管理する河川・海岸・道路のライブカメラ映像など、必要な情報を入手することができます。

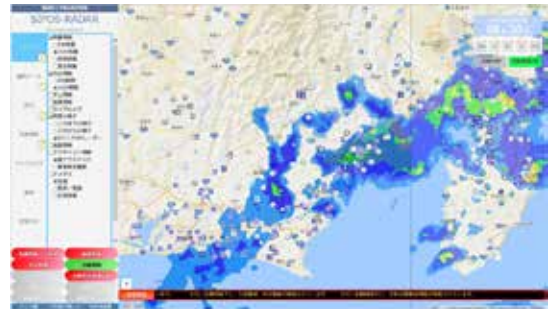
大雨や台風接近時に**河川などの様子を見に行くことは大変危険です**。水位情報・河川ライブカメラなどを確認してください。

パソコン、スマートフォンから
<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>



サイポスレーダー便利ポイント

- ▶雨量や水位、雨雲の様子など、多くの情報を重ねて表示できる
- ▶防災情報の重要度や雨量、水位を分かりやすく色でお知らせ
- ▶市町別、1時間ごとの天気予報を確認できる



▲水位情報に雨雲の様子を重ねたマップ

避難するときのポイントをチェック！

※避難とは『難』を『避』けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

□ 早めの避難を心掛ける

降雨や河川水位などの情報を収集し、浸水する前に、近所の方と声を掛け合って早めに避難しましょう。



□ 浸水している中での避難は危険

水の深さが膝上を超えると、水圧の影響で大人でも歩くのが難しくなります。危ないと判断したときは、無理をせず、高い所で救助を待ちましょう。

□ 車で避難しない

冠水してエンジンが停止したり、渋滞に巻き込まれたりすることがあります。車で避難する場合、道路が冠水する前の早い時期に避難しましょう。

□ 動きやすい服装で

荷物は必要最低限とし、両手が使えるようにリュックを背負いましょう。

□ 長靴は履かない

浸水した場所を歩く場合は、長靴の中に水が入り、歩きづらくなります。紐で縛る運動靴をはきましょう。

□ 河川などには近づかない

増水した河川や水路などの様子を見に行くのは危険です。避難の際にも近づかないようにしましょう。

避難に関する情報を配信します



◀いわたホットライン

磐田市 LINE
公式アカウント▶



「マイ・タイムライン」を作成しましょう！

「マイ・タイムライン」とは？

ページ番号 1008967

台風の接近などによって大雨が予想される時に自分自身が取れる避難行動を、あらかじめ時系列に整理し、まとめた行動計画表のことを「**マイ・タイムライン（私の避難行動計画）**」といいます。

急な判断が迫られる災害発生時に、「いつ」「誰が」「どこに」「どのような」行動を取ればよいか決めておくことで、速やかに避難行動がとれます。また、自分の住んでいる地域の洪水ハザードマップを確認することで、より具体的なマイ・タイムラインを作成することができます。



「逃げキッド」を使ってマイ・タイムラインを作ってみよう！

「逃げキッド」は、国土交通省が作成したマイ・タイムラインを作るお手伝いをするための入門的なツールです。

この「逃げキッド」は、①水害リスクを知る ②課題に気づく ③マイ・タイムラインを作る の3つのステップで構成されています。

3つのステップを通して、川が氾濫するまでの一連の流れを理解し、発信される情報の種類や入手方法、使い方を知ること、どのタイミングでどのような準備をしておくかを考え、整理してみましょう。

「逃げキッド」のダウンロード
はこちら



逃げキッド使い方ガイド
(YouTube)はこちら



▲逃げキッド

地域づくり応援課では、防災講座のひとつとして、「マイ・タイムライン」を作成する講座を行っています。ご希望の方は、地域づくり応援課(本庁舎 2階 ☎ 0538-37-4751)までお問い合わせください。

マイ・タイムラインを家族で共有し更新しよう！

風水害は自然現象であり、マイ・タイムラインで想定したとおりに行動できるとは限りません。また、台風の移動速度によっては、さらに早めの避難が必要になることもあります。

一度作って終わりではなく、家族で共有し、避難行動計画を更新していきましょう。また、家族が増えたり、通勤・通学先が変わった時など、家族の環境の変化に応じて見直しを行い、必要な避難行動を整理しましょう。